

令和 7 年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学 校 教 育 専 攻

沖縄県内地域指定推薦

一 般 推 薦

共 通 問 題

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで以下の各問に答えなさい。

※ 非公開

※ 非公開

※ 非公開

(佐藤 学 (2021). 「学びの共同体の創造—探究と協同へー」 小学館, 136～143 ページ, 抜粋・一部改変)

- 問 1 学校における教師と子どもの関係性について, 筆者がどのように考えているのかを, 本文中に基づいて 200 字以上 250 字以内で説明しなさい。
- 問 2 小学校の教育実践における教師と子どもとの間の「信頼と尊敬」のあり方について, 本文中の 4 つのエピソードのうちの 1 つと, あなた自身が体験したエピソード 1 つを引用しながら, あなたの考えを 1,000 字以上 1,200 字以内で論じなさい。

令和7年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース
学 校 教 育 専 攻

沖縄県内地域指定推薦

共 通 問 題

一 般 推 薦

出 題 の 意 図

教育学部では、アドミッション・ポリシーとして、（１）教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきいたい人、（２）教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人、（３）高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人、（４）沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人を求めている。

本出題文は、教育学者である著者が経験した、学校での４つのエピソードを示しながら、学びの共同体の実践での「尊厳」における、「信頼と尊敬」の重要性と難しさについて指摘した文章である。

問１は、出題文の趣旨をきちんと把握できているかを問う設問である。

問２は、出題文のエピソードとこれまで受験生自身が経験してきた具体的なエピソードを示しながら、小学校の教育実践における教師と子どもとの間の「信頼と尊敬」のあり方についての考えを問う設問である。

これらの問いを通じ、学校教育専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえて、（１）教育や子どもに関する知識・理解、（２）小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力、（３）小学校教育に対する意欲・関心をみる。